

運用報告書（全体版）

第14期

（決算日：2019年10月28日）

ソフトバンク& SBIグループ 株式ファンド

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ソフトバンク & SBI グループ株式ファンド」は、2019年10月28日に第14期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限（クローズド期間はありません）	
運用方針	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド（ベビーフンド）	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	当ファンド（ベビーフンド）	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年10月27日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。経費控除後の配当等収益（繰越分及びマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額とします。委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

 SBI Asset Management

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株式 組入比率	純資産 産額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落		
	円		円	%	%	百万円
10期(2015年10月27日)	12,268		0	9.5	95.8	1,176
11期(2016年10月27日)	10,942		0	△10.8	98.2	1,014
12期(2017年10月27日)	15,316		0	40.0	95.1	1,351
13期(2018年10月29日)	12,735		0	△16.9	96.0	1,240
14期(2019年10月28日)	12,820		0	0.7	96.0	1,208

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式(以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。)に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価額	騰落率	
		騰落	率
(期首) 2018年10月29日	円 12,735	% -	% 96.0
10月末	13,240	4.0	96.1
11月末	13,027	2.3	97.6
12月末	10,865	△14.7	95.7
2019年1月末	11,624	△8.7	97.6
2月末	12,686	△0.4	98.4
3月末	12,611	△1.0	96.6
4月末	13,369	5.0	95.8
5月末	13,341	4.8	95.4
6月末	13,381	5.1	97.0
7月末	13,930	9.4	97.2
8月末	12,692	△0.3	98.7
9月末	12,712	△0.2	96.6
(期末) 2019年10月28日	12,820	0.7	96.0

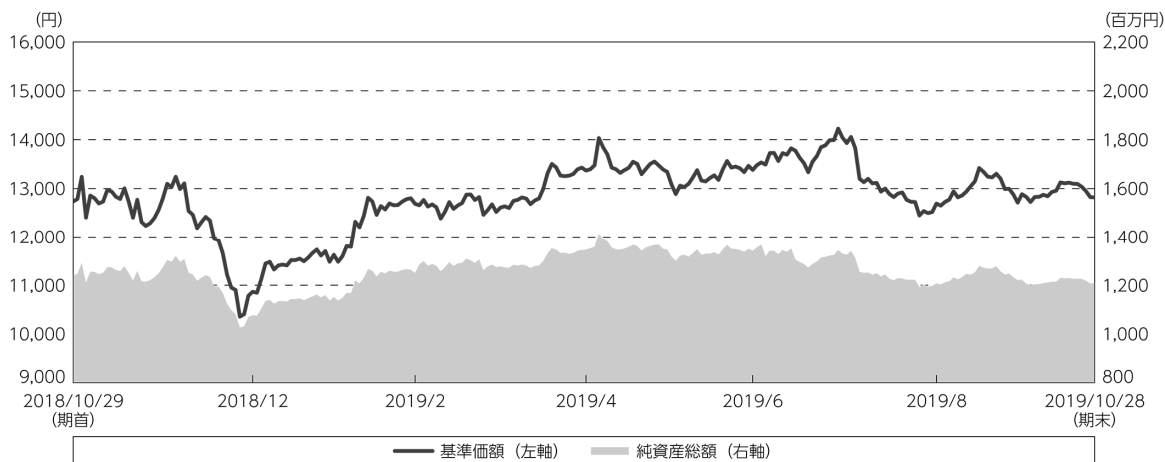
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年10月30日から2019年10月28日まで）

○基準価額等の推移



(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

米中通商問題の先行きに対する警戒感が後退したことで、日本の株式市場で買いが優勢となったことや為替市場で円安が進行したこと、マザーファンドを通じて投資する主要投資先であるソフトバンクなどの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米中通商問題の長期化懸念などが意識され、投資家のリスクを回避する姿勢が日本の株式市場にも波及したことや、マザーファンドを通じて投資する主要投資先であるソフトバンクグループなどの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。

○投資環境

米中通商問題の長期化懸念などから、世界的に株式市場が軟調な展開となりました。2018年12月には、米国債券市場で長期金利が短期金利よりも低くなる「逆イールド」という現象が発生し、将来の景気後退が意識されました。東証株価指数（TOPIX）と日経平均株価はそれぞれ年初来安値を更新し、3年ぶりの弱気相場入りとなりました。2019年に入り、米中通商問題の進展期待などを受けて、反発する局面もみられましたが、他の先進国と比べて年末の下落からの戻りが鈍く、ボックス圏での推移が続きました。9月後半は、日経平均株価が10営業日続伸となり、約5カ月ぶりに22,000円台を回復しましたが、23,000円を目前に利益確定売りが優勢となり、結局22,867.27円で期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

個別銘柄別では、期の前半はソフトバンクグループ、後半はソフトバンクがそれぞれプラス寄与となりました。ソフトバンクグループの株価上昇は、SVF（Softbank Vision Fund）及びDF（Delta Fund）事業の評価益が反映されたことが主因となったほか、ソフトバンク事業及びヤフー（2019年10月1日付でZホールディングスに社名変更されました。）事業が好調だったことも材料視されました。しかし、期の後半は、子会社を經由して投資を行っていたコワーキングスペース「ウィーワーク」事業を行うウィーカンパニーが株式上場をめざしていたものの、上場延期を発表したことで、保有していた同社株式が大幅に下落したことから、期の後半にかけて、ソフトバンクグループの株価は調整局面を迎えました。

ソフトバンクは2018年12月に株式上場しましたが、公募価格を下回る展開が続いていました。2019年7-9月期に改正電気通信事業法の施行前や消費税増税前の駆け込みによって、携帯電話大手各社はともに販売費用や端末販売原価が増加基調となりました。競合他社の契約数が伸び悩むなか、ソフトバンクの着実な契約者数の増加が評価され、株価は上昇に転じました。

当期の組入銘柄の異動は以下の通りです。ブックオフグループホールディングス（9278）はヤフーとの資本関係の解消、窪田製薬ホールディングス（4596）はSBIホールディングスの持分法適用会社に該当しないこととなったことから、それぞれポートフォリオから除外しました。ソフトバンク（9434）はソフトバンクグループの子会社として株式上場したため、組入れを行いました。ソフトバンクについては、当ファンドの主要投資先の要件を満たしているため、主要投資先が3社となり、1銘柄の組入比率を「おおむね33.3%を上限」に変更しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

○分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第14期
	2018年10月30日～ 2019年10月28日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,469

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資します。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%）して決定し、3か月ごとに組入比率の再調整を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年10月30日～2019年10月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 118	% 0.921	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(56)	(0.439)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(56)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	9	0.071	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(9)	(0.071)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.035	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(4)	(0.034)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	131	1.027	
期中の平均基準価額は、12,789円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

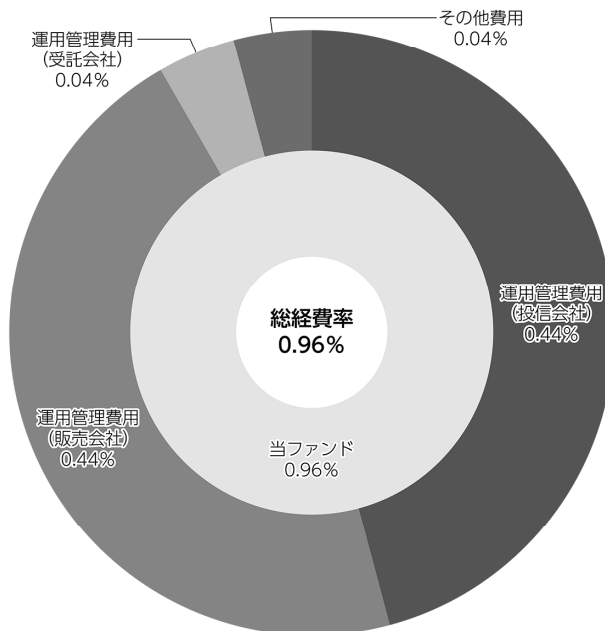
(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.96%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月30日～2019年10月28日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 212,360	千円 309,000	千口 247,961	千円 363,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2018年10月30日～2019年10月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,499,867千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,221,542千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月30日～2019年10月28日)

利害関係人との取引状況

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
株式	百万円 741	百万円 196	26.5	百万円 758	百万円 116	15.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人の発行する有価証券等

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
株式	29	62	91

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	891千円
うち利害関係人への支払額 (B)	44千円
(B) / (A)	5.0%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモーニングスター、SBIホールディングス、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2019年10月28日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	870,506	834,906	1,205,604

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年10月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	1,205,604	98.6
コール・ローン等、その他	16,646	1.4
投資信託財産総額	1,222,250	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月28日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,222,250,394
コール・ローン等	16,646,084
ソフトバンク&SB1グループ株式・マザーファンド(評価額)	1,205,604,310
(B) 負債	13,411,965
未払解約金	7,620,203
未払信託報酬	5,575,717
未払利息	45
その他未払費用	216,000
(C) 純資産総額(A-B)	1,208,838,429
元本	942,918,231
次期繰越損益金	265,920,198
(D) 受益権総口数	942,918,231口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,820円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	974,395,448円
期中追加設定元本額	368,420,426円
期中一部解約元本額	399,897,643円

○損益の状況 (2018年10月30日～2019年10月28日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 9,279
支払利息	△ 9,279
(B) 有価証券売買損益	11,862,455
売買益	31,147,863
売買損	△ 19,285,408
(C) 信託報酬等	△ 11,827,831
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	25,345
(E) 前期繰越損益金	△ 47,539,675
(F) 追加信託差損益金	313,434,528
(配当等相当額)	(303,223,303)
(売買損益相当額)	(10,211,225)
(G) 計(D+E+F)	265,920,198
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	265,920,198
追加信託差損益金	313,434,528
(配当等相当額)	(305,267,490)
(売買損益相当額)	(8,167,038)
分配準備積立金	116,179,110
繰越損益金	△163,693,440

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,258,792円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(305,267,490円)および分配準備積立金(92,920,318円)より分配対象収益は421,446,600円(1万口当たり4,469円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○約款変更のお知らせ

一般社団法人投資信託協会規則の規定に基づき、「特化型運用」を行うファンドとする等の信託約款の変更を行いました。

(変更日：2019年7月29日)

第14期 運用報告書

(決算日 2019年10月28日)

ソフトバンク & SBI グループ株式・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ソフトバンク & SBI グループ株式・マザーファンドの第14期（2018年10月30日から2019年10月28日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	この投資信託は、わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & SBI グループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組 入 制 限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
10期(2015年10月27日)	円		%	%	百万円
	13,309		10.5	96.4	1,168
11期(2016年10月27日)		11,976	△10.0	98.4	1,012
12期(2017年10月27日)		16,929	41.4	95.5	1,345
13期(2018年10月29日)		14,208	△16.1	96.3	1,236
14期(2019年10月28日)		14,440	1.6	96.3	1,205

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2018年10月29日	14,208		—	96.3
10月末	14,774		4.0	96.4
11月末	14,548		2.4	97.9
12月末	12,135		△14.6	96.0
2019年1月末	12,998		△ 8.5	97.9
2月末	14,199		△ 0.1	98.7
3月末	14,125		△ 0.6	96.9
4月末	14,987		5.5	96.0
5月末	14,970		5.4	95.7
6月末	15,026		5.8	97.3
7月末	15,659		10.2	97.5
8月末	14,274		0.5	99.0
9月末	14,308		0.7	96.8
(期 末)				
2019年10月28日	14,440		1.6	96.3

(注1) 騰落率は期首比。

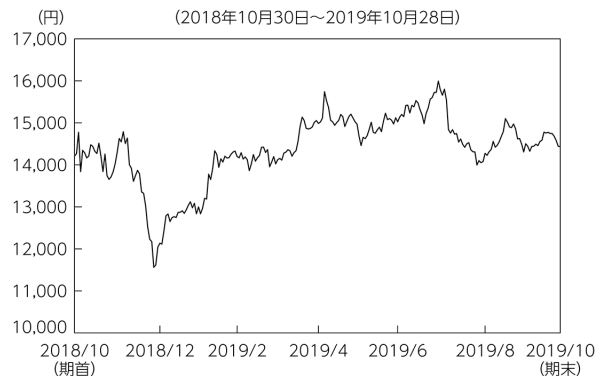
(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年10月30日から2019年10月28日まで）

○運用経過

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は、期首14,208円から始まったあと、期末には14,440円となりました。期を通じて騰落率は1.6%の上昇となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2018/10/29	2019/7/29	2018/12/25	2019/10/28
基準価額（円）	14,208	15,993	11,562	14,440

【組入上位10銘柄】

(2019年10月28日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	32.2
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	31.8
3	Zホールディングス*1	情報・通信業	円	日本	20.3
4	SBIホールディングス	証券、商品先物取引業	円	日本	7.2
5	アスクル	小売業	円	日本	2.1
6	パリュウコムース	サービス業	円	日本	0.7
7	S Bテクノロジー*2	情報・通信業	円	日本	0.6
8	モーニングスター	サービス業	円	日本	0.4
9	SBIインシュアランスグループ	保険業	円	日本	0.3
10	アイティメディア	サービス業	円	日本	0.2
組入銘柄数			15銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

*1 2019年10月1日より「ヤフー」から「Zホールディングス」に社名を変更いたしました。

*2 2019年10月1日より「ソフトバンク・テクノロジー」から「S Bテクノロジー」に社名を変更いたしました。

○当ファンドのポートフォリオ

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

個別銘柄別では、期の前半はソフトバンクグループ、後半はソフトバンクがそれぞれプラス寄与となりました。ソフトバンクグループの株価上昇は、SVF（Softbank Vision Fund）及びDF（Delta Fund）事業の評価益が反映されたことが主因となったほか、ソフトバンク事業及びヤフー（2019年10月1日付でZホールディングスに社名変更されました。）事業が好調だったことも材料視されました。しかし、期の後半は、子会社を經由して投資を行っていたコワーキングスペース「ウィーワーク」事業を行うウィーカンパニーが株式上場をめざしていたものの、上場延期を発表したことで、保有していた同社株式が大幅に下落したことから、期の後半にかけて、ソフトバンクグループの株価は調整局面を迎えました。

ソフトバンクは2018年12月に株式上場しましたが、公募価格を下回る展開が続いていました。2019年7-9月期に改正電気通信事業法の施行前や消費税増税前の駆け込みによって、携帯電話大手各社はともに販売費用や端末販売原価が増加基調となりました。競合他社の契約数が伸び悩むなか、ソフトバンクの着実な契約者数の増加が評価され、株価は上昇に転じました。

当期の組入銘柄の異動は以下の通りです。ブックオフグループホールディングス（9278）はヤフーとの資本関係の解消、窪田製薬ホールディングス（4596）はSBIホールディングスの持分法適用会社に該当しないこととなったことから、それぞれポートフォリオから除外しました。ソフトバンク（9434）はソフトバンクグループの子会社として株式上場したため、組入れを行いました。ソフトバンクについては、当ファンドの主要投資先の要件を満たしているため、主要投資先が3社となり、1銘柄の組入比率を「おおむね33.3%を上限」に変更しました。

○今後の運用方針

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2018年10月30日～2019年10月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 10 (10)	% 0.071 (0.071)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	10	0.071	
期中の平均基準価額は、14,333円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2018年10月30日～2019年10月28日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		607	741,798	705	758,069
		(37)	(-)		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年10月30日～2019年10月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,499,867千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,221,542千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月30日～2019年10月28日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
株式	百万円 741	百万円 196	% 26.5	百万円 758	百万円 116	% 15.3

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 未 保 有 額
株式	百万円 29	百万円 62	百万円 91

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	891千円
うち利害関係人への支払額 (B)	44千円
(B) / (A)	5.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモーンスタースター、SBIホールディングス、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2019年10月28日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
医薬品 (一%)			
窪田製薬ホールディングス	8.1	—	—
情報・通信業 (88.4%)			
イーブックイニシアティブジャパン	1.1	0.9	1,567
ブロードバンドセキュリティ	0.8	0.6	982
Zホールディングス*1	1,055.7	745.5	245,269
S Bテクノロジー*2	4.5	3.5	6,660
ソフトバンク	—	262.2	388,056
ソフトバンクグループ	70.3	96	383,616
小売業 (2.2%)			
ベクター	2.9	2.2	693
アスクル	11.3	8.5	24,964
ブックオフグループホールディングス	4.2	—	—
証券、商品先物取引業 (7.5%)			
S B Iホールディングス	48.5	36.6	86,815

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
保険業 (0.3%)				
S B Iインシュアランスグループ	4.7	3.5	4,060	
サービス業 (1.6%)				
アイティメディア	4.1	3.2	2,300	
バリューコマース	7.1	5.3	8,623	
モーニングスター	17.2	13	5,018	
サイジニア	0.4	0.3	330	
ジーニー	3.6	2.8	1,724	
合 計	株 数 ・ 金 額	1,244	1,184	1,160,681
	銘柄数<比率>	16	15	<96.3%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

*1 2019年10月1日より「ヤフー」から「Zホールディングス」に社名を変更いたしました。

*2 2019年10月1日より「ソフトバンク・テクノロジー」から「S Bテクノロジー」に社名を変更いたしました。

○投資信託財産の構成

(2019年10月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,160,681	89.8
コール・ローン等、その他	132,024	10.2
投資信託財産総額	1,292,705	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月28日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,292,705,291
コール・ローン等	404,676
株式(評価額)	1,160,681,700
未収入金	116,292,765
未収配当金	15,326,150
(B) 負債	87,086,540
未払金	87,086,539
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	1,205,618,751
元本	834,906,032
次期繰越損益金	370,712,719
(D) 受益権総口数	834,906,032口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,440円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	870,506,687円
期中追加設定元本額	212,360,936円
期中一部解約元本額	247,961,591円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	834,906,032円

○損益の状況 (2018年10月30日～2019年10月28日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	36,575,811
受取配当金	36,606,610
支払利息	△ 30,799
(B) 有価証券売買損益	△ 13,791,753
売買益	66,311,832
売買損	△ 80,103,585
(C) その他費用	△ 4,928
(D) 当期損益金(A+B+C)	22,779,130
(E) 前期繰越損益金	366,332,934
(F) 追加信託差損益金	96,639,064
(G) 解約差損益金	△115,038,409
(H) 計(D+E+F+G)	370,712,719
次期繰越損益金(H)	370,712,719

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○約款変更のお知らせ

一般社団法人投資信託協会規則の規定に基づき、「特化型運用」を行うファンドとする等の信託約款の変更を行いました。

(変更日：2019年7月29日)